

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **環境局**

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	地域からの低炭素社会への取組み
	取組みの方針	低炭素社会を実現するストック型社会への転換

担当局 / 総務担当課名	環境局	総務課
連絡先	582-2182	

21年度計画

-2-(1)-

施策名 **環境に配慮した都市基盤・施設の整備・維持管理**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市が率先して低公害車を導入することにより、市民、企業への普及・啓発を図るもの。H25年度までに次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車)を公用車として50台導入する。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	低炭素社会を実現するストック型社会への転換

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値			平成21年度		目標値	
	次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車)の導入台数	年度		21	計画	1 台	年度
H25年度までに次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車)を公用車として50台導入する。	現状値	1	実績	1 台	目標値	次世代自動車(EV、PHV)50台導入(21~25年度)	
			達成度	100.0 %			
	年度		計画	台	年度		
			実績	台			
	現状値		達成度	%	目標値		
	年度		計画		年度		
			実績				
	現状値		達成度	%	目標値		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	5,725 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
				うち一般財源	5,725 千円	1,500 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	市役所内の次世代自動車の導入は計画どおり 政府の低公害車普及助成もあり、市民・企業への普及・啓発につなげることができた
		今後の次世代自動車の普及へ向けて事業を継続する このため、次世代自動車を導入目標(H25年度までに50台)を達成すべく市が率先して行動する

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価
 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

施策名 環境に配慮した都市基盤・施設の整備・維持管理

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点[21年度:執行額]					21年度	21年度	
公用車における低公害車普及事業			5,725 千円	1,500 千円	義務的経費			ウ
事業費のうち一般財源			5,725 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円					

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	5,725 千円	1,500 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	5,725 千円	

局施策の
21年度評価

A

【局施策評価】
 A: 大変良い状況にある
 B: 概ね良い状況にある
 C: 概ね良い状況とまでは言えない
 D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

